

《新作施設》総合健診センター

ヘルチェック渋谷アクシュ

- 所在地：東京都渋谷区渋谷 2-17-1 渋谷アクシュ 4・5 階
- 施主：医療法人社団善仁会
- ディレクション・デザイン・設計・施工：株式会社スペース
- アート制作：小葉田千穂

昨年8月、渋谷駅東口エリアの複合施設・渋谷アクシュ内に、医療法人社団善仁会が運営する総合健診センター「ヘルチェック渋谷アクシュ」がオープンした。サインは言語や年齢を問わず、誰もが直感的に理解できるピクトサインを採用。ネオン独特の柔らかな照明を付加することで、渋谷らしさを表現した。



Takuya Yamauchi / VIGNETTE



Takuya Yamauchi / VIGNETTE



Takuya Yamauchi / VIGNETTE



Takuya Yamauchi / VIGNETTE

▲利用者同士の目線の分断や緑視率(視野を占める緑の割合、一定の割合でストレスを軽減するという)を考慮し、各動線の交点には植栽を施している。



Takuya Yamauchi / VIGNETTE



Takuya Yamauchi / VIGNETTE

▲各フロアのロッカールームは、石目調タイルに木目調ロッカー(スペース社が設計した造作什器)を合わせることで安心感を感じさせる空間を構築。

検査の流れを効率化する 視認性を重視したピクトサイン

首都圏を中心に、生活習慣病の予防、疾病の早期発見を目的とした企業向けの健診センターを展開する、医療法人社団善仁会は昨年8月1日、渋谷駅東口エリアに位置する複合施設・渋谷アクシュ内に、総合健診センター「ヘルチェック渋谷アクシュ」をオープンした。同センターは、4階と5階の2フロ

アで構成。4階は男性、5階は女性の専用フロアとし、法定健診をはじめ、人間ドックや生活習慣病、レディースドック、脳ドックなどの検査を毎日実施している。首都圏12番目となる同センターは、日本有数のビジネス拠点に相応しい施設を目指し、ディレクションから施工まで、株式会社スペースが担当した。デザインコンセプトは、先進的な企業・人が多い渋谷の特性を踏まえ、「Shibuya urbanoasis (都会のオアシス)」と設定。落ち着きを感じさせる木目や石目調など

の自然由来の素材と、ナチュラルカラーを意識した内装デザインを採用した。同社デザイン担当者は、「健康診断に要する時間のほとんどが待ち時間であることから、待ち時間の過ごし方や過ごす場所を選択できる施設を目指し、配置する家具の種類をはじめ、サーカディアンリズムに則った照明計画や、利用者の視線に配慮した植栽計画などを組み合わせることで、居心地の良さとデザイン性を調和させた空間を構築した」と話す。サインは、次の検査がどの部屋で行わ

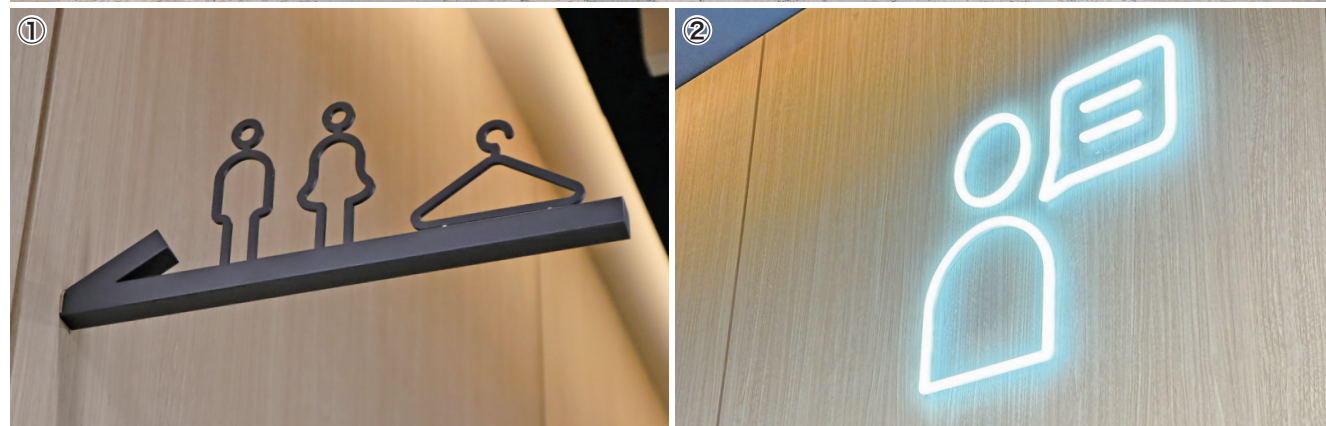
れるかわかりづらいといった、健康診断における問題点を改善すべく、遠目から見て何の検査が行われるのか想像できるピクトサインを採用。各検査室入口上部の下がり壁に、ネオン風の光によって視認性を高めたピクトサインを設置することで、利用者の回遊性を高めている。センター内は、35歳以下の一般健診と呼ばれる検査項目の範囲とX線検査、人間ドックと大まかに検査エリアが設定されており、次の検査へスムーズに移行できるように、エリアごとにピクトの色

味を統一。各検査室内の1面には、アクセントクロスを設定しており、そのクロスに近い色味に調光しているという。アイレベルでは、動線の交点となる箇所に、矢印を組み合わせた誘導サインを設置することで、ピクトサインが死角に入ってしまう場所でも感覚的に理解できるサイン計画とした。製作・施工担当者は、「壁面誘導サインの取り付けでは、社内施工基準により、想定していたサインの太さよりも、倍近く壁接地面を設ける必要があったため、テーパー仕様とし、

正面のみサイン用の色味で着色、テーパー小口面は壁面と同色にすることで、施工基準をクリアしながら、繊細なデザインの実現を図った」と語る。サインの反響について、プロジェクト担当者は、「自然素材や植栽を活かした空間に、ネオンのコントラストが効いていて良いという感想のほか、実際に運用を開始してからは、「次は聴力検査なので、黄色のピクトサインの近くでお待ちください」など、案内も行いやすくなったとの声を頂いている」と述べた。



Takuya Yamauchi / VIGNETTE



①突き出しピクトサイン／H116×W305×D16mm ベース：スチール角パイプ+スチール t3 切抜き(いずれもメラ焼)
②ネオン風ピクトサイン(説明室)／H372×W400×D15mm ベース：12 中拡散アクリル クリア塗装
ラウンジェリアのネオン風ピクトサインは白色。各検査エリアごとに色味を統一しており、両フロアで 5 色、合計 27 個のネオン風ピクトサインを設置した。



Takuya Yamauchi / VIGNETTE

③ネオン風ピクトサイン(胸部レントゲン)／H400×W394×D15mm ベース：12 中拡散アクリル クリア塗装
ピクトは全てオリジナルデザイン。各検査室内の 1 面に、④アクセントクロスを設定しており、検査室入口上部の下がり壁に設置したネオン風ピクトサインの色味は、そのクロスに近い色味に調光している。



Takuya Yamauchi / VIGNETTE



Takuya Yamauchi / VIGNETTE



⑤ネオン風ピクトサイン(視力検査)／H400×W398×D15mm ⑥同(心電図)／H399×W396×D15mm ⑦同(案内カウンター)／H400×W379×D15mm
ベース：12 中拡散アクリル クリア塗装



Takuya Yamauchi / VIGNETTE

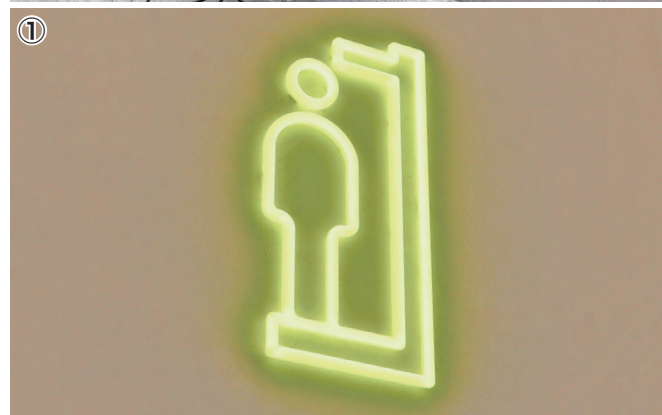
⑧ネオン風ピクトサイン(マンモグラフィ)／H400×W327×D15mm ベース：12 中拡散アクリル クリア塗装
⑨ゴミ箱サイン／H100×W80×D0.1mm 表示：マーキングフィルム



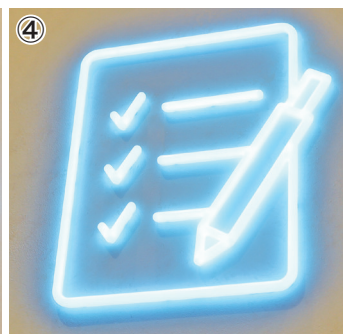
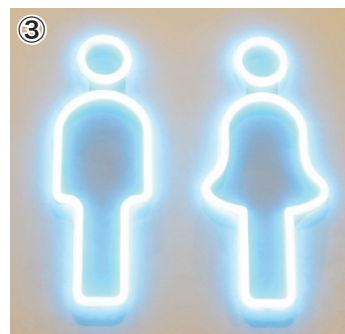
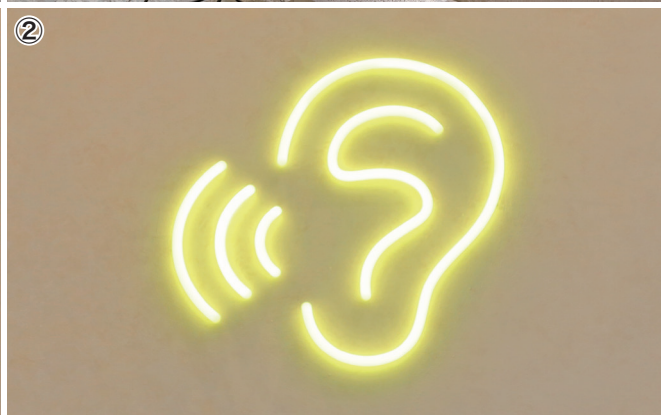
Takuya Yamauchi / VIGNETTE



Takuya Yamauchi / VIGNETTE



①ネオン風ピクトサイン (身体計測) / H400×W191×D15mm ②同(聴力検査) / H400×W396×D15mm ベース: 12φ拡散アクリル クリア塗装
サーカディアンリズムに合わせて、照明の色温度が変化。様々なデザインの椅子や豊かな植栽、ヒーリング効果を発揮する3D音響により、利用者がリラックスできる滞在空間を創出した。デザインだけでなく、環境配慮も意識し、壁装材にはリサイクル材、カーペットは再生糸などを使用している。



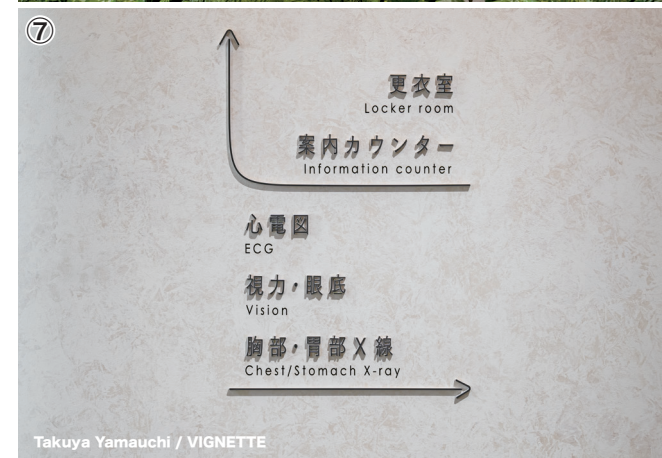
③ネオン風ピクトサイン (採尿室・化粧室) / H400×W369×D15mm
④同(問診室) / H400×W359×D15mm ベース: 12φ拡散アクリル クリア塗装
⑤壁面誘導サイン / H90×W485×D5mm ベース: 樹脂製文字
⑥室名サイン / H60×W240×D0.1mm 表示: マーキングフィルム
渋谷という立地特性を考慮し、室名サインは2カ国語表記を採用した。



Takuya Yamauchi / VIGNETTE



Takuya Yamauchi / VIGNETTE



⑦壁面誘導サイン / H528×W360×D5mm ⑧壁面誘導サイン / W733×W442×D5mm ベース: 樹脂製文字



Takuya Yamauchi / VIGNETTE



Takuya Yamauchi / VIGNETTE



Takuya Yamauchi / VIGNETTE



Takuya Yamauchi / VIGNETTE

施設内の各所にグラフィックアーティスト・小葉田千穂氏のアート作品を展示。4階はかつて渋谷にあった景色やもの、5階は現在も渋谷に存在している景色やものをモチーフにした作品を設置している。なお、同氏はピクトサインのデザインにも携わっているという。